



便り

結婚ってなに？

夫と妻という個に対する枷であり、秩序を保つための檻そのものである。その代償として社会的保証と信用を得て相互の責任を持つこととなる。それが結婚の実態ではないだろうか。(名華女)

今時の女性が男性に望むのは「4低」、低姿勢(威張らない)、低依存(家事や育児に協力し手がかららない)、低リスク(失業の危険が少ない)、低燃費(贅沢しない)なのだと。結婚はこれが全てではないですが、お互いに思いやりがあれば良いのではないのでしょうか。(Gファン)

結婚は誰かの為に、ましてや「少子高齢化対策」の為に無理矢理するものじゃない。ピピピッ!ときて、互いの人生の一部を共有する覚悟がし合えたらするものだ! 結婚生活が薔薇色か地獄かは本人次第。この世は一度経験してみると分かる事多し...人生の先輩として幸多かれと祈る。(すみちゃん)

「あなたは長女だから養子をとるのよ」と言われて育った。よって結婚は条件に合うかを考えるをえなかった。苗字にこだわらる親と苗字を変えたくない夫との綱引きは続く。結婚ほど思い通りにならないものはないが、一度は経験してほしい。なぜなら多くを教えてくれるから。(じぼ)



No.20



△ハモン博士のまとめ

2015年の国勢調査の数字から、50歳までに一度も結婚しない生涯未婚率は、男性23.6% (およそ4人に1人)、女性14.1% (およそ7人に1人)の割合だそうです。結婚することが半ば当たり前の世の中から「結婚しなくても幸せになれる時代」というCMが流れる時代へと変わってきている。さて、「結婚制度」はこの先どうなっていくのかの。

結婚とは、自分以外の誰かの人生に責任を持つて関わること。だが、自分が責任なんて重いことを意識して結婚したかという...?なので、本音は、勢いとタイミングでやってくる人生の選択肢の一つ。選択するかは個人の自由だけど、息子のうち一人くらいは結婚してくれないと困る...と思ってしまう複雑なもの。(チャーミー)

彼女に子どもができたら...と考えてみる。男が胸を張って人の親として世間に認めってもらうには、「結婚」か「認知」が必須。じゃないと子どもと俺は法的には赤の他人。だったら対外的にも対内的にも「結婚」の方が気分がいいわい。そんな葛藤を経て、今に至る。(俺)



問合せ

おおぐち男女共同参画懇話会(地域振興課)
☎95-1691

Be Ambitious

vol.275

町内にお住まいの 20代の皆さんがリレーで登場!

人との関わり

酒井 基至さん(下小口) H8・11・30生



トーク力を勉強中

化学が得意で、大学は工学部の化学・生命工学科に在籍。将来は研究職希望です。

アルバイトの塾講師で、小中学生に英語と数学を教えています。高校までは、周りの人と積極的に関わることがなかったのですが、アルバイトでも子どもに勉強を教える中で、人との関わりをいいなと感じるようになりました。人と関わらずにいると、精神的に悪い方向に進みがちになることに気づきました。バイト先の塾長はトーク力が素晴らしく、生徒と話す中でいい距離感を保ちながら相手をやる気にさせ、子ども自ら「勉強をやる」と言うように上手にもっている。勉強

を教えるだけでなく勉強が楽しいと思わせ、自発的にやる環境を作ってあげることが大切だと学びました。

高校の陸上部の思い出

高校では個人競技をやりたいたいと思い、陸上部に入りました。短距離を専門にしていたが、先輩にも後輩にも全国レベルの人がいて、びっくりしました。練習は厳しく、週の休みは1日でした。「リレー」という、一周約600mを3人のリレー形式で何周も全力疾走するメニューは、拷問のようにきつかったです。

高3の春に4×400mリレーの1走で県大会に出場できたのが思い出です。



▲ Haunted Halloween (音楽フェス) 昨年、久屋大通りにて